

# 九州休眠預金経営実践戦略会議

～社会的企業にもチャンスがある

休眠預金✕SDGsで

新価値ある事業創出にチャレンジしませんか～

(九州SDGs経営推進フォーラム分科会)

一般社団法人SINKa 事業経営責任者 外山伸一郎

2022年9月5日

# SINKaご紹介

代表理事	濱砂 清 Change！感動する人・共感ビジネスでよのなかをよりよく変える！ 人々が集い感動できる豊かな地域社会を子ども達につなぎたい！
事業目的	九州の社会起業家や社会起業家創出を支援するためのネットワークで、社会起業家になりたい、社会起業家を応援したい、社会的企業を経営したいという人々の集まりとして2006年4月に任意団体として設立。社会起業家・社会的企業の育成・支援を行う全国組織、一般社団法人ソーシャルビジネスネットワーク(SBN)のフェローとして参画している。 H22年6月より九州経済産業局「九州ソーシャルビジネス促進協議会Sofi」の福岡での事務局を運営。 <b>起業家</b> <b>事業</b> <b>組織</b>
事業内容	2006年4月福岡を拠点に九州・全国での社会起業家創出支援ネットワーク設立を母体として、 <b>NPO等活動団体支援、人材育成・教育事業、企業の社会貢献・CSV・SB事業、事業型NPO育成事業、各種セミナーやフォーラム開催等の事業を通じて、人・事業・組織を創り出し、社会を豊かにする取り組みを展開。</b> 公設民営センター(1施設)の運営を担い、県内外団体の伴走支援。東峰村での地方創生、中山間地域再生支援。
事業例	福岡県朝倉郡東峰村への支援 <a href="https://toho-iwayacamp.com/">https://toho-iwayacamp.com/</a> 福岡県遠賀郡遠賀町での起業支援施設PIPIT運営

起業家創出する



福岡県朝倉郡東峰村への支援(復興経済)  
日本百選の棚田をつなぐ



人材育成・イベント開催

社会は誰のものか！？

**第15回九州ソーシャルビジネス  
(参加者社会貢献型)フォーラム**

～真価を求めイノベーションしたSB/SDGs！  
第三世代の(起)業家が仕掛ける九州地域、位置価値(1勝)創造事業～



休眠預金 新型コロナウイルス対応緊急支援助成

福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業  
～いま動くしかない！居場所と出番づくり～

推進協議会(公開)・最終報告会

**2022年2月18日(金) 15:30～19:30**

- ◆ 場 所：① GarrawayF (福岡市中央区天神2-10-3 VIORO 7F) ② オンライン (Web会議ツールZoomを使用)
- ※なお、緊急事態宣言等の状況によっては、オンラインのみの開催となる場合があります。
- ◆ 参加料：無料
- ◆ 申 込： <https://www.sinkweb.net/2022/01/post-288.html>
- ◆ 募集人員：① GarrawayFでの参加 30名 ② オンライン50名
- ※定員になった場合には、その時点で申込締め切りとなります。



九州ソーシャルビジネス  
サポートネットワークフォーラム

起(企)業のヒント！  
SDGs時代の持続的な  
人・モノ・地域づくり

9月2日(木)

## 九州休眠預金実践経営戦略会議とは

休眠預金制度(※)は民間公益活動に「休眠預金」等を活用する制度です。近年、民間企業もいわゆる「社会的企業活動」として参入しています。

本会議は民間企業の本制度への参入を増やし、地域課題解決のため、九州休眠預金実践経営戦略会議(第23回)より「九州SDGs経営推進フォーラム分科会 休眠預金 ✖ SDGs」の位置づけで開催し、制度の周知を進めて参ります。

九州に「資金分配団体」(※)がないと直接活動できる「実行団体」(※)も増えない、その状態をなんとか改善したく休眠預等活用制度、活用事例についてご紹介し、九州SDGs経営推進フォーラム参画企業・団体にも呼び掛けて、九州をよりよくしていく取り組みにしていきたいと考えています。

(※)別添資料参照ください

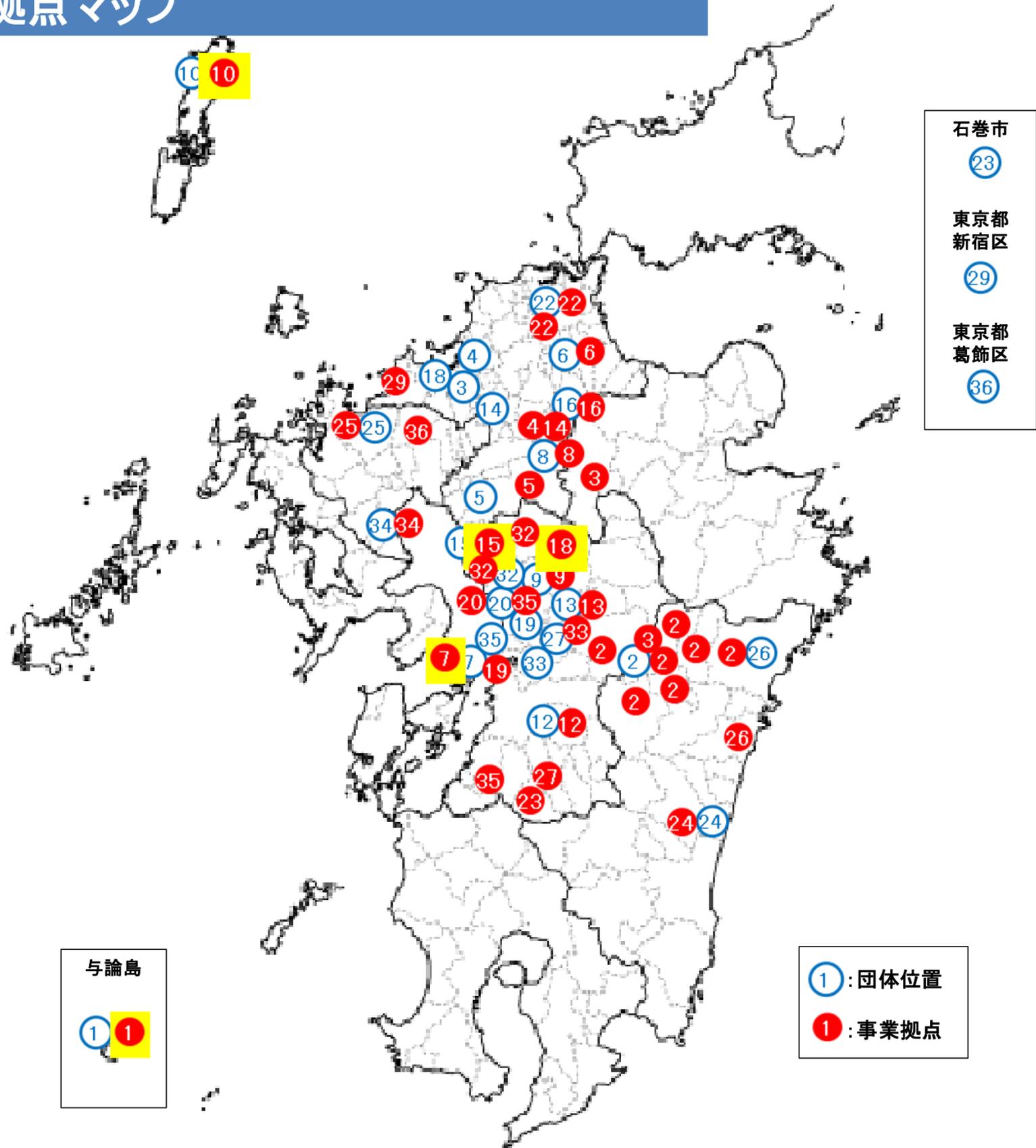
# 2022年度 九州の資金分配団体と採択団体の例

資金分配団体	一般財団法人 ちくご川コミュニティ財団	資金分配団体	公益財団法人 佐賀未来創造基金	資金分配団体	公益財団法人 熊本YMCA
事業名	誰ひとり取り残さない居場所づくり	事業名	コロナ禍での気候変動を起因とする災害対応支援事業	事業名	安心して過ごせるコミュニティづくり支援事業
実行団体名		実行団体名		実行団体名	
一般社団法人 家庭教育研究機構 飯塚市		社会福祉法人佐賀県社会福祉協議会 佐賀市		特定非営利活動法人 せいしとらんし熊本 熊本市	
特定非営利活動法人 未来学舎 久留米市		特定非営利活動法人日本レスキュー協会 伊丹市		やっちろ保健室運営協議会 合志市	
特定非営利活動法人箱崎自由学舎 ESPERANZA 福岡市		一般社団法人日本カーシェアリング協会 石		子育てネットワーク 縁側moyai	
		一般社団法人おもやい 武雄市		子ども支援活動ボランティアグループ ゆめの絆	
		名尾手すき和紙株式会社 佐賀市		一般社団法人 オルタナ 熊本市	
		特定非営利活動法人みつわ 武雄市		認定特定非営利活動法人 NEXTEP 合志市	
		株式会社 RIGHTPLACE 武雄市		株式会社 南阿蘇ケアサービス 阿蘇市	
				一般社団法人 sol 阿蘇市	
				一般社団法人 フミダス 熊本市	
				ワールドフレンズ天草 天草市	

- ・一般企業が少ない
- ・九州どこからでも申請可能なことが多い(活動地域で判断されることが多い)
- ・一般企業申請可能

# SINKa「SB第3世代による九州位置(地域)価値創造事業」 申請団体及び事業拠点マップ

申請団体所在地  
事業拠点予定地



法人格	申請数
一般社団法人	5
NPO法人	4
株式会社 (有限会社含む)	18
社会福祉法人	1
合同会社	1
任意団体	1



(採択結果)  
株式会社 3社  
一般社団法人 2社

## 第23回開催内容

### 1) 休眠預金等活用事業事例紹介

①一般社団法人SINKa事業「SB第3世代による九州位置(地域)価値創造事業」について

②民間企業(実行団体)事例紹介

○テーマ タイトル「なんとかしたい“思い”と事業をつなげるために」

株式会社 アソシア 法人本部管理者 大城 篤志(おおしろしげゆき)氏



### ○内容

若年妊産婦の出生率が全国1位の沖縄で、若いママたちが置かれている暴力や貧困等の状況を何とかしたいと、大学の教員や地域の民間支援者から声が上がった。民間支援団体が直面する資金調達の課題や休眠預金事業の事務手続き等の課題をクリアするために、当法人に声がかかり、社会的な課題に取り組む支援者と共同して沖縄県の社会的な課題に取り組んでいる。

### 2) 休眠預金等活用制度のご紹介

○テーマ 休眠預金制度の概要および企業の様々なかかわり方

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構(JANPIA)

プログラムオフィサー 芦田一毅(あしたかずき)氏



### ○内容

休眠預金を活用した公益活動が2019年より始まり、公益活動を担い手である実行団体は民間企業を含め約700団体を超えました。誰一人取り残さないというモットーのもと、行政対応が難しい社会の諸課題の解決を目指して、①子供及び若者の支援、②日常生活を営む上で困難を有する者の支援、③地域活性化等の支援、を実施しています。

## 第24回開催内容

### 1) 休眠預金等活用事業事例紹介

○事例紹介 本城商店株式会社 企画部 部長 森内 安信(もりうち やすのぶ)氏

○テーマ タイトル『捨てるから創るへ 医療系資産の循環型プラットフォームの事業化』  
～資産処理におけるバリューチェーン横断的なプロセス管理の為の指標化とシステム化～

#### ○内容

政府が進める成長戦略のヘルスケアとクリーン分野の連携として、環境・資源化産業が集積する九州において企業連携や官民一体の事業展開モデルを進めています。使用済資産処理に注目して、適正で安全な精度管理をプロセスで管理し、標準化された業務フローでの継続的利用を提案します。地域内の技術とノウハウを活用して、新しく創造する経済性・環境性・地域貢献の価値評価を報告・還元できるSDGs の仕組みとして進めています。

### 2) 休眠預金等活用制度のご紹介(一般社団法人SINKa 事業経営責任者 外山伸一郎)

#### ○内容

休眠預金の制度についてご説明し、事業を活用して民間公益活動に参加する方を増やしていきたいと考えています。

# 九州休眠預金経営実践戦略会議の様子

Zoom ミーティング

九州休眠預金実践経営戦略会議 (第23回)

舞い上げれ  
社会を変えろ  
みんなの力  
休眠預金を活用した事業です

休眠預金制度の概要および企業の様々な関わり方

2022年 7月 12日  
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)  
プログラムオフィサー 戸田 一毅

JANPIA  
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

Copyright © JANPIA 2022

Zoom ミーティング

レコーディングしています...

九州休眠預金実践経営戦略会議 (第23回)

舞い上げれ  
社会を変えろ  
みんなの力  
休眠預金を活用した事業です

休眠預金制度の概要および企業の様々な関わり方

2022年 7月 12日  
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)  
プログラムオフィサー 戸田 一毅

JANPIA  
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

Copyright © JANPIA 2022

Zoom ミーティング

レコーディングしています...

## 第25回開催内容(2022.9.13開催予定)

### 1) 休眠預金等活用事業事例紹介

○事例紹介 WorkStep株式会社代表取締役/ NPO法人ママワーク研究所理事長 社会保険労務士、産業カウンセラー 田中彩 氏

○テーマ タイトル『ママドラフト会議が目指す、九州広域圏の未来』

#### ○内容

休眠預金活用事業に2021年度に採択された「ママドラフト会議 for Kyushu Island」事業(潜在就業女性を産業に「つなぐ」タレント発掘プロジェクト。「地域から」「オンラインで」潜在就業女性を産業につなげる、広域圏構想)。企画までの背景や想い、取組んだ1年間でのアクションや今後への展開意向をお伝えします。2016年に論文としてまとめた、女性復職支援事業に関するSROI(※)試算についてもご紹介します。



**参加者募集中です！**

※Wikipediaより：社会的投資利益率（しゃかいてきとうしりえきりつ、英語：social return on investment、SROI）は、社会的活動を行う組織体で用いられる成果および業績を数量化して測定する指標の一つである。

社会的投資利益率（%）＝ 一定期間の社会的成果  
÷ 投下された資源額

HP  
<https://www.sinkweb.net/2022/08/sdgs242022913.html>



申し込みフォーム

# SINKaイベントのご案内

9月7日17:00開催

ソーシャルビジネス相談月間 Social Business

## 地球をつなぐSDGsはあたりまえ!

九州ソーシャルビジネスサポートネットワークフォーラム 2022

2022年 会場とオンラインのハイブリッド開催!

日時 9月7日 水 17:00-19:50

会場: Garraway F (福岡市中央区天神2-10-3 VIOR07F) および Zoom

参加

## 「九州ソーシャルビジネスサポートネットワークフォーラム」～地球をつなぐSDGsはあたりまえ!～

"地球をつなぐSDGsはあたりまえ!"をテーマに開催する運びとなりました。「環境」「多様性」「まちづくり」など課題解決に必要とされる事業のあり方、ヒントを3名のプレゼンターからご紹介いただきます。

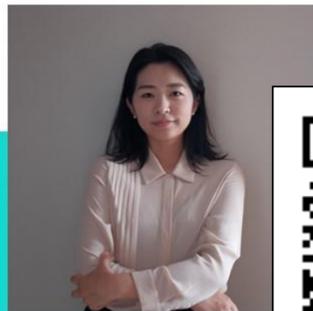
- ・サーキュラーエコノミー実現に向けた取り組み  
(株)JEPLAN 取締役執行役員会長 岩元美智彦 様
- ・子どもたちが明るい未来を描ける社会を目指して  
特定非営利活動法人にこり 理事長 松丸 実奈 様
- ・多角的地域振興～こゆ財団(宮崎県)の取り組み  
一般財団法人こゆ地域づくり推進機構 執行理事 高橋 邦男 様

9月13日18:30開催

SB/cb・SDGs研究会『耕作放棄地×フレグランス』～休眠預金活用事業 事業計画ブラッシュアップ!～  
(9月13日開催)



事業計画プレゼンテーション  
(株)フリップザミント代表取締役  
久川誠太郎 氏



コメンテーター:  
FANTASIA inc.共同経営者・  
毛利マユコ 氏



## SB/cb・SDGs研究会『耕作放棄地×フレグランス』～休眠預金活用事業 事業計画ブラッシュアップ(事業評価研修)!～

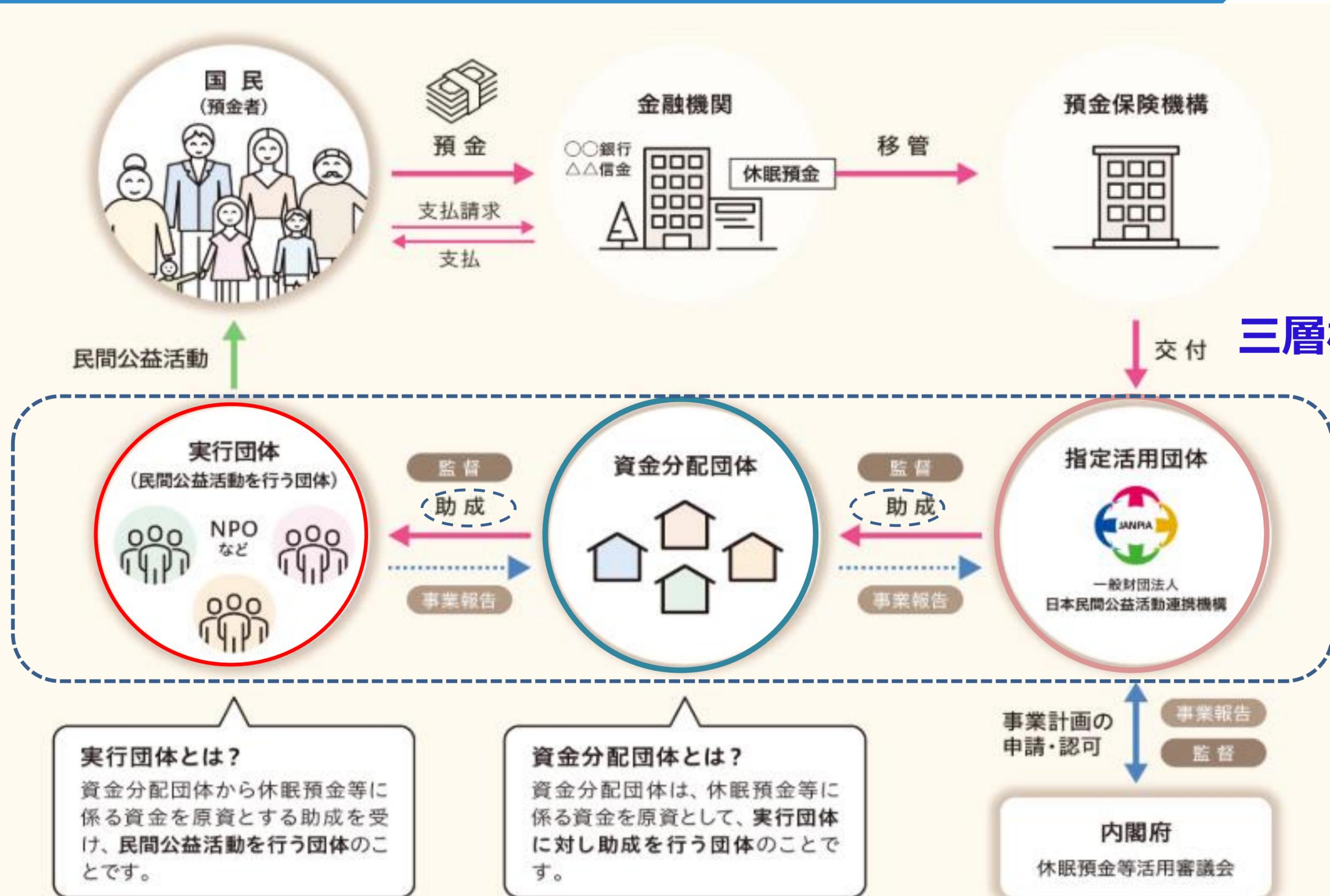
実行団体の一つ(株)フリップザミントが取り組む「耕作放棄地を活用して香料用植物を栽培し商品開発・展開する」事業計画についてプレゼン頂いた後、ディスカッションしながら事業計画ブラッシュアップ(事業評価研修)を行っていきます。

- テーマ「菊池市の荒廃農地再生事業」  
株式会社フリップザミント 代表取締役 久川誠太郎氏
- コメンテーター:FANTASIA inc.共同経営者・プロデューサー  
毛利マユコ 氏

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等(休眠預金等)を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。



- 資金分配団体、実行団体：JANPIAが規程するガバナンス・コンプライアンス体制等、適切に業務を遂行できる団体（社団・財団・NPO・株式会社等）





# 数字でみる休眠預金活用事業の全体像

## ■ 資金分配団体による助成事業数 (累計)

**96**事業

2019年度通常枠	24事業
2020年度緊急支援枠	20事業
2020年度通常枠	20事業
2020年度〈随時〉	16事業
2021年度通常枠〈第1回〉	11事業
2021年度コロナ対応支援枠	5事業

## ■ 助成予定総額

約 **126.9** 億円

2019年度通常枠	約29.8億円
2020年通常枠	約27.9億円
2020年度緊急支援枠	約15.9億円
2020年度緊急支援枠〈随時〉	約20.9億円
2019年度通常枠〈20年度追加助成〉	約3.5億円
2021年度通常枠〈第1回〉	約18.3億円
2021年度コロナ対応支援枠	約10.6億円

## ■ 資金分配団体総数 (コンソーシアム構成団体含む延べ団体数)

**143**団体

### 資金分配団体94団体 +コンソーシアム構成団体49団体

2019年度通常枠	22団体+4コンソーシアム構成団体
2020年度緊急支援枠	20団体+8コンソーシアム構成団体
2020年度通常枠	20団体+11コンソーシアム構成団体
2020年度緊急支援枠〈随時〉	16団体+11コンソーシアム構成団体
2021年度通常枠〈第1回〉	11団体+13コンソーシアム構成団体
2021年度コロナ対応支援枠	5団体+2コンソーシアム構成団体

## ■ 実行団体数 (累計)

**613**団体

2019年度通常枠	142団体
2020年度緊急支援枠	229団体
2020年度通常枠	95団体
2020年度緊急支援枠〈随時〉	130団体
2021年度通常枠〈第1回〉	公募準備中
2021年度コロナ対応支援枠	17団体 公募・選定中

複数事業採択を除く、  
資金分配団体実数

**83**団体

資金分配団体54団体  
コンソーシアム構成団体29団体

(2022年1月24日現在)

# 参考：これまでの資金分配団体の採択状況

(2022年1月24日現在)



年度	助成事業		公募期間・締め切り	申請団体数 (事業数)	採択団体数/事業数 (選定日)	助成総額(予算)		実行団体数・選定状況
2019	通常枠		2019年6月3日～7月31日	49団体 (67事業)	<b>22団体/24事業</b> (11月29日)	29.8億円 (30億円)		501団体申請→142実行団体を選定、事業展開中
2020	通常枠		2020年6月1日～7月27日	42団体 (43事業)	<b>20事業/20団体</b> (10月7日)	28億円 (33億円)		285団体申請→95団体を選定、事業展開中
	コロナ枠	初回	2020年5月27日～6月12日	42団体 (42事業)	<b>20団体/20事業</b> (7月17日)	16億円	コロナ支援枠 <b>36.6億円</b> (40億円)	621団体申請→229団体を選定、事業展開中
		随時募集1回目	2020年9月末	5団体 (5事業)	<b>3団体/3事業</b> (11月2日)	3.3億円		45団体申請→22団体選定、事業展開中
		随時募集2回目	2020年12月末	4団体 (4事業)	<b>2団体/2事業</b> (2月2日)	1.7億円		34団体申請→15団体選定、事業展開中
		随時募集3回目	2021年1月末	18団体 (18事業)	<b>11団体/11事業</b> (2月25日)	15.6億円		164団体申請→93団体選定、事業展開中
		2019年通常枠追加支援	—	22団体中18団体から申出を受け全件助成		3.5億円 (10億円)		助成済
2021	通常枠	1回目	2021年6月1日～7月27日	31団体 (33事業)	<b>11団体/11事業</b> (9月17日)	18.3億円	<b>(36億円)</b> <b>32億円</b>	契約手続き中
		2回目	2020年10月25日～11月30日	<b>9団体</b>		14.2億円		—
	コロナ支援枠	1～5回目	～11月20日	13団体 (13事業)	<b>5団体/5事業</b>	10.63億円	<b>(40億円)</b> <b>24.26 (13.63) 億円</b>	審査中・公募準備中
		1月17日まで公募実施。第6次第7次まで採択されています						

# 実行団体の活動対象地域

2021年12月16日現在

